

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成24年4月16日 午後 1時30分 開会 午後 4時26分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	渡辺順子 奥津勝子 二宮加寿子 土橋秀雄 三澤龍夫 片野哲生 竹内恵美子 高橋富美子 鈴木京子 高橋英俊 関 威國 坂田よう子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 依田教育長 二挺木首席理事 福島理事 森田政策課長 岩本総務課長 齋藤副主幹 小嶋税務課長 岩崎主幹 原危機管理対策室長 加藤財政課長 宮代副主幹 曾根田主任主事 和田町民課長 二挺木保険福祉課長 大隅子ども育成課長 松本生涯学習課長 由井都市計画課長 小瀬村副技幹
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 山口芳弘
6 協議等の事項	(1) 議会報告会について (2) 市町村アカデミー主催の研修参加について (3) その他
7 その他	一般傍聴なし

(1) 町長あいさつ

「交通安全街頭見守り」、「新採用職員」、「大磯町暴力団排除条例に基づく排除措置連絡体制等に関する合意書」、「機構改革の実施」、「町の鳥『アオバト』をモチーフとしたソファカバーの設置」、「主な町の行事予定」について話があった。町側から報告事項が5件あるので、よろしくお願ひしたい。

◎主な質疑

問. 新採用職員15人の内訳は。

答. 正規職員10名、任期付職員5名、うち1名は保健師。

問. 退職者の内訳は。

答. 定年が3名、定年以外は2名。途中退職、その他補充、休職を含めプラスマイナスで260名は確保した。

(2) 町報告事項

① 専決処分の承認を求めることについて

地方税法の改正に伴う町税条例の一部を改正する専決処分について、税務課より説明があった。平成24年3月30日に地方税法が可決・成立し、同年4月1日から施行されたことに伴い、町条例を改正するもの。内容は、平成24年度から同26年度までの各年度分について、用途変更宅地等及び類似用途宅地等に課する固定資産税の経過措置を延長し、引き続きみなし方式とすることを附則第20項として定めた。

直近の議会で提案する。

◎主な質疑 なし

② 平成23年度事故繰越事業について

地方自治法の規定に基づく手続として6月議会で説明する。ここでは概要を報告する。財政課より説明があった。

◎主な質疑

問. 一覧表に「不測の日数を要したため」とあるが、「不測」の定義はあるのか。理由を付けてもらえないか。

答. 特段の規定はない。相手との交渉協議なので日数的に3月ぎりぎりまでかかってしまったことがある。全体的に「不測」という言葉を使った。6月議会で報告の時に具体的な内容を記載する。

問. 財産管理運営事務事業の測量委託は何件か。

答. 1ヵ所で北下町の町有地で、境界確定が折り合い付かなかったこともあり、繰越しとなった。

問. マリア道の土地購入費、何件中何件がまだ交渉が終わってないのか。

また、補償費の契約期限は23年度中という理解でよいか。

答. 土地購入費全体で10件、そのうち8件が繰越しとなった。物件除去補償契約期限は、24年3月31日である。

問. 町道28号線の土地購入費2カ所と補償費だが、平成24年度中には解決できるということか。

答. 契約自体はもうできている。あとは登記の関係で時間がかかるため繰越しとなった。事業のほうはこれで完了する。

③ 平成24年度大磯町土地開発公社事業計画書及び予算の報告について  
財政課から3月29日に行われた、土地開発公社理事会の結果の報告と説明があった。

◎主な質疑

問. 予算の附帯等事業収益1千円とは、一般管理の草刈手数料だが、何カ所か、委託先はどこか。下水道受益者負担金はどこに発生するのか。

答. 附帯等事業収益は科目設定的に計上している。公社の土地を貸す時の収益である。草刈は2カ所で東小磯と国府本郷で、委託先は入札で決まる。受益者負担金は、公社が代替用地として取得した国府本郷の土地に対して、町が公社に請求している。

問. 本庁舎駐車場用地とはどういうことか。

答. 場所は役場前のサンライフが所有している土地である。

問. 事業計画一覧表は、合計しか出てないが、内訳はいくらか。

答. 交渉事なので個別に金額は示せない。

問. 場所を示す地図がないが、出せない理由があるのか。

答. 例年どおりの形になってしまった。今後は地図も示していく。

④ 新たな津波浸水予想図について

神奈川県は3月30日に新たな津波浸水予想図を公表した。県は最大クラスの津波を想定し、発生する津波をシュミレーションしたものの中から、大磯町にとって浸水面積が最大、かつ、最大津波高の到達時間が早いものについて示した。町では元禄型地震が発生したあと、3分後に神縄・国府津一松田断層帯に地震が起きる想定で作成したもの。危機管理対策室から説明があった。

◎主な質疑

問. ハザードマップはいつごろできるのか。早い時期にやってもらいたい。

答. 住民の方々と避難エリアを設定していくので時間がかかる。防災マップで津波浸水区域は、平成23年度から繰越しした中に、新たに作り込んで町民に示すようにしていきたい。

- 問. プリンズホテル前の橋、葛川、不動川のところの橋の強度についての考えは。
- 答. よくは承知してないが、ロングビーチ橋、その手前の中河原橋は、平成になってから架け替えをしているので、強度は十分かと考えている。
- 問. 昨年の3月11日以降、町の防災マニュアルも書き直しがされて、新しいものはできているのか。また、このような津波浸水予想図が出た段階で防災マニュアルの訂正、変更が行われるのか。
- 答. 防災マニュアルは地域防災計画のことと思うが、県が3月に地域防災計画の改定をした。それを受けて町では津波の浸水予測を含め今年度地域防災計画の改定を行う。
- 問. 今、もし地震や津波が起きた場合は、今あるもので町民に対して指示ができるかと考えているか。
- 答. 災害が発生した場合は、応急対策については大きく変わっているところはない。町民の方には防災マップとして、事前の備えや災害ごとの行動など記載したものを6月中には配布できるようにと考えている。
- 問. 大磯保育園のことで3月議会補正時にあったが、この予想図が出て何か方針は変わるか。
- 答. この浸水データで新たに変わることはない、同じように考えている。
- 問. 県のほうでは、大きな津波があった場合は、大磯の防潮堤が押し寄せたのをきちんと受け止められる耐久性があると言っているのか、またはグレーゾーンなのか。
- 答. 海岸保全施設は、護岸形式の施設は背後地盤で評価している。今のところそれ以上の詳細な情報はもらっていない。浸水図を見る限りでは防潮堤を超えての浸水ではなく、花水川の溯上によって内側から浸水してくるような浸水深となっている。県からの詳細データは4月中に各市町村に配ると聞いているので、5月になれば話しができると思う。

⑤ 平成23年度実施の公共施設耐震診断結果について

昨年9月補正で予算措置した4施設の耐震診断の結果が出たので報告があった。国府支所（旧庁舎部分）と大磯小学校体育館は耐震補強が必要と出た。また、耐震改修の必要な施設の措置状況及び今後の対応について各施設管理者から報告があった。

◎主な質疑

問. 支所でミニデイサービスをやっているが、どうするのか。

答. 社会福祉協議会へは報告した。デイサービスをしている部屋から耐震に問題のない施設へ誘導が可能であれば利用もできなくはないが、利用団体と相談して、利用者の安全性を考慮した中で判断していきたい。

問. 大磯小学校体育館の耐震診断結果は、3月19日までが工期で3月中に最終結果が出ると議会だよりにも載せている。4月13日の資料では3月27日に結果が出たと載っているが、なぜそれだけかかったのか。

答. 工期は3月19日となっている、結果が悪かったので再度数値の確認をしたため、27日に最終的に確定した。

### (3) 各委員会等の行事報告・予定について (別紙)

### (4) 主な報告事項

#### ① 委員長等からの報告

○4月16日 議会運営委員会(3月定例会反省では附帯決議について話題が出て委員間の討議についてが課題となった。また、一般質問、総括質疑のやり方は今後の検討課題とした。・議会報告会では、たたき台が了承され全協に諮ることになった。・6月定例会日程は、請願・陳情の締切が5月21日(月)に変更された。)

高橋(英)委員長

○3月22日 総務建設常任委員会協議会 高橋英俊副委員長

(旧吉田茂邸再建・町営自転車駐車場整備検討・山王町松並木敷整備活用計画(案)・駅前洋館活用事業者募集要項(案)・災害時動物救護活動に関する協定の締結・大磯町猫の保護及び管理に関する指導要綱の廃止・ごみ処理広域化基本協定)

○4月13日 福祉文教常任委員会協議会 竹内委員長

(大磯小学校体育館耐震診断の結果及び今後の対応については、国府支所も含めて臨時議会ですることになった。・国府小プール施設開放)

○3月29日・4月9日 議会だより編集委員会 鈴木委員長

(第164号・議会だより編集委員会の公開等・議会報告会の周知方法)

○監査委員からの報告(3月19日に住民監査請求があった。「おあしす24」に医幹が帯同しなかったと金額の返還を町長に求めるもの。5月18日までに結果を決定する。) 三澤委員

○農業委員からの報告 3月26日 農業委員会総会(第2号から第5号議案まで可決、報告第1号から第3号までの報告があった。) 片野農業委員

② 3月18日 東日本大震災復興イベント(議員と事務局で7万5千円、バザーで同額の計15万円を東北被災地の2市2町に送金した。協力感謝する。) 高橋(富)議員

③ 3月22日 米原市・与謝野町視察 清水議員

(中山道・醒井のまち並み保存と市民活動：こちらは重要伝統建物群の指定は市民の了解が得られなかったが湧水もあり天然記念物のイトヨも生息している。京都府与謝野町加悦(かや)はちりめん街道・平成18年度に重要伝統建物群保存地区指定され、その取組みを視察した。)

④ 3月27日・28日 四日市市議会報告会視察(有志7名で総務と福文で分かれて2ヵ所訪ねた。常任委員会ごと自分達で資料作成し、行っていた。参加は約50名、質問の程度も高く、市民とのコミュニケーション取れていると感じた。) 渡辺議長

⑤ 4月10日 区長役員との懇談会(報告会をお願いした。区長からは、予算はじまる前に意見を聴いてもらいたい。町道幹○号では、わかりにくい。同じ一般質問がある等の意見をもらった。一般会議については区長会と行うとよいと思う。)

渡辺議長

⑥ 行政視察来庁について 奥津副議長

3月26日 茨城県下妻市議会 会派「志政クラブ」(議会基本条例を中とする議会改革の取組み)古参議員が多く、進めることに苦慮しているとの話しがあった。

### (3) 協議事項

① 議会報告会について

議会報告会実施要綱、同要綱の運用基準については、議運決定のとおり了承される。開催要領は、第1班と第3班の関議員、三澤議員が入れ替わる。掲示板に貼るポスターも報告内容が決まれば議員が手分けして貼り出すことになる。詳細を協議するため4月23日(月)午後1時30分から全協を開催することに決定。

② 市町村アカデミー主催の研修参加について：参加者は以下のとおり決定した。

- ・政策講座Ⅱ 奥津副議長、竹内福祉文教委員長
- ・特別セミナー 二宮議員、片野議員、高橋(富)議員、関議員

### (4) 事務局からの報告

① 政務調査費について(使途状況の公表)平均11万3,000円、返還9人。5月から収支報告書等の公表を行う予定。

・次回の議員全員協議会は、臨時開催で4月23日(月)午後1時30分からの予定

### (5) 閉会